

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちかいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 529

2024
3.25 [Mon]



「十八森早春賦」

撮影者/田川 和彦

表紙の写真は、第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール
秋田の農業&農村部門(春の章)において最優秀賞を受賞された作品です。

(撮影場所:にかほ市冬節)

目次

CONTENTS

| | |
|--|----|
| 本会第66回通常総会 | 2 |
| 水土里ネット秋田・事業計画(重点事項)について | 4 |
| 男女共同参画推進事業について | 5 |
| 第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクール | 6 |
| 能登半島災害派遣について | 8 |
| 令和5年度女性セミナー | 9 |
| 女性事務局長に聞く!土地改良区リレーインタビュー(北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤則子氏) | 10 |
| 令和5年度秋田県受益農地管理強化委員会・秋田県管理運営体制強化委員会 | 11 |
| 随想 | 11 |
| 水土里レポーターによる写真投稿(内越土地改良区 職員 伊藤 孝弘氏) | 12 |
| リレー感想文 | 12 |
| 編集後記 | 12 |

本会第66回通常総会

— 農業・農村の持続的発展に向けて —



▲高員会長挨拶

3月18日(月)、本会第66回通常総会が県社会福祉会館(秋田市)で開催され、会員84名(内、委任状39名)が出席した。

開会にあたり高員会長が、「新年早々に発生した令和6年度能登半島地震によって、お亡くなりになられた方の御冥福を申し上げるとともに、その御家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。農業農村を取り巻く情勢は、毎年のように発生する大規模自然災害や生産現場における労働力不足に加え、国際情勢の緊迫化に伴う生産資材や燃料の高騰など、厳しい状況が続いており、国では食料安全保障の強化が喫緊かつ最重要の課題であるとしている。

今後、食料・農業・農村基本法の改正案審議が本格化する見込みであり、改正法が施行されると国の農業政策は食料安全保障の確保に向けて新たなステージを迎えることになる。

本会では、最新の農業政策にも的確に対応して支援業務の一層の充実を図り、本県の農業・農村の持続的発展に貢献できるように、役職員一同、精進していく」と挨拶を行った。

引き続き、土地改良功労者表彰が行われ、1団体と個人9名が栄えある表彰を受けた。その後、来賓の皆様を代表して佐竹敬久秋田県知事、前島明成東北農政局長(代読：八百屋市男地方参事官)、富樫博之衆議院議員からご祝辞を頂戴し、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員からのメッセージが紹介された。

議事では、伊藤稔理事長(秋田県仙北平野土地改良区)を議長に選任し、令和4年度事業報告書・貸借対照表・一般会計収支決算書及び財産目録、令和5年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、令和6年度事業計画、一般会計収支予算等が審議され、これらの議案はすべて原案通り承認並びに議決された。令和6年度事業計画の重点項目として、(1)持続可能で効率的な生産基盤の確立に向けた支援、(2)防災・減災、国土強靱化に向けた支援、(3)土地改良区体制強化に向けた支援、(4)豊かな農村環境づくりへの支援、(5)活力に満ちた地域活動への支援が位置づけられた。また、欠員となっていた役員の新選任がなされ、員外を含む理事4名が選任された。最後に金森常務理事による「決議文」が朗読され、満場一致で採択された。

総会直後には理事による互選会が行われ、欠員となっていた副会長を決定した。なお、土地改良功労者表彰者と選任された役員は次のとおり。



▲佐竹秋田県知事祝辞



▲富樫衆議院議員祝辞

令和5年度秋田県土地改良功労者表彰(敬称略)

■ 団体表彰

【金章】 かつの土地改良区

■ 個人表彰

◇石川善衛(かつの土地改良区理事)、堀部栄一(北秋田市土地改良区理事)、羽沢淳子(大館市土地改良区職員)、伊藤重好(琴丘土地改良区理事長)、菊地福一郎(新城川土地改良区理事長)、森拓二(にかほ市土地改良区会計担当理事)、笹山義夫(秋田県南旭川水系土地改良区理事)、後藤保(秋田県雄物川筋土地改良区事務局長)、佐藤達也(秋田県雄物川筋土地改良区管理課長補佐)

選任された理事の方々(令和6年4月1日付)

| 役職 | 支部・区域等 | 所属団体名 | 職名 | 氏名 |
|----|----------|--------------|----------|-------|
| 理事 | 鹿角支部 | かつの土地改良区 | 理事長 | 田口 裕 |
| 理事 | 大館・北秋田支部 | 大館市土地改良区 | 理事長 | 畠山 清俊 |
| 理事 | 山本支部 | 秋田県能代地区土地改良区 | 理事長 | 薩摩 勝幸 |
| 員外 | 県内 | 学識経験者 | 仙北地域振興局長 | 舩谷 雅広 |



▲表彰の様子



▲受賞者



▲総会(議事)



▲新役員を選任

〈決議文〉

記

- 一 地域の要望に応え、農業農村整備事業を計画的かつ円滑に実施するために必要な予算を安定的に確保すること
- 一 農業の成長産業化に向けて、農地の大区画化や水田の汎用化・畑地化とともにスマート農業に対応した基盤整備を一層推進すること
また、農地中間管理機構との連携による担い手への農地集積・集約化も併せて推進すること
- 一 農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化などの機能強化対策に加え、ICTの導入等による水利用の効率化や水管理の省力化等を推進すること
併せて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、引き続き十分な予算を確保すること
- 一 土地改良区の組織運営体制の強化に向けて、男女共同参画や統合整備を一層推進するとともに、燃料価格や電気料金の高騰に対する支援を充実すること

令和6年3月18日

秋田県土地改良事業団体連合会 第66回通常総会
(水土里ネット秋田)

【令和6年度】 水土里ネット秋田・事業計画（重点事項）について

水土里ネット秋田では、令和6年度事業計画を第66回通常総会(3/18開催)で承認いただきました。

基本方針

本県においては、高齢化等を背景とした労働力不足や大規模自然災害の頻発化などに加え、生産資材や燃料の高騰など、生産現場は厳しい状況が続いております。

本県の農業・農村が持続的に発展し、食料の安定供給の役割を担っていくためには、ほ場の大区画化や水田の汎用化・畑地化を一層推進するとともに、スマート技術の導入等による生産性の向上や需要に応じた農産物の生産基盤の整備を進めることが必要です。

令和6年度は、次の事項を重点項目として、会員、国、県及び関係団体との連携を図りながら着実に実施していくことで、本県の農業・農村の持続的発展に貢献してまいります。

重点項目

1 持続可能で効率的な生産基盤の確立に向けた支援

「あきた型ほ場整備」を念頭に、引き続き、調査・計画、設計、換地までの一連の業務を実施して基盤整備を支援してまいります。

特に、今後実施地区の増加が見込まれる中山間地域におけるほ場整備については、平場に比べて条件が不利な地域特性に配慮した基盤整備を支援してまいります。

2 防災・減災、国土強靱化に向けた支援

「秋田県ため池保全サポートセンター」では、引き続き、相談対応や現地パトロール等を実施するほか、管理者が不在で活用される見込みのない農業用ため池については廃止手続き等について支援してまいります。

また、農業水利施設の長寿命化対策として、機能診断等の結果を水土里情報システムへデータベース化して、施設の管理・検索等の効率化を図り、データを有効活用して改築・改修事業に最適な補助事業等を提案し、適切な保全管理を支援してまいります。

3 土地改良区体制強化に向けた支援

多様な人材が活躍できる盤石な運営体制の実現に向けて、女性理事を登用した土地改良区に対する助成金の交付や研修会の実施、相談窓口の設置等により、土地改良区における男女共同参画の推進を積極的に支援してまいります。

4 豊かな農村環境づくりへの支援

農業集落排水について、老朽施設の機能強化のための計画的な改築・更新や統合を助言していくほか、改築の場合は先進的な技術の導入について提案してまいります。

5 活力に満ちた地域活動への支援

「秋田県多面的機能支援協議会事務局」として、引き続き、保全活動の適正かつ円滑な実施を支援してまいります。

また、人材等が不足していることから、県等と連携して人材の募集とともに、保全活動組織とのマッチングを行い、保全活動の継続を支援してまいります。

土地改良区の男女共同参画推進事業について

土地改良区は、農業生産基盤の整備、農業水利施設の保安全管理、災害時の対応、農業・農村が持つ多面的機能の維持など、農業・農村の発展に向けて重要な役割を担う団体であり、その機能と役割を十分発揮することが求められています。

このため、男女を問わず多様な人材がその個性や能力を十分発揮できる組織運営体制の実現に向けて、本会では令和6年度より秋田県の補助を受けて「土地改良区における男女共同参画推進事業」を実施し、土地改良区における男女共同参画の推進を支援します。

○事業の内容

(1) 役職員等の意識向上対策事業

男女共同参画について、役職員等の意識向上を図るため、講習会等の開催、組合員向けのパンフレットの作成等を実施します。



(2) 就業環境整備事業

女性理事登用に向けた定款変更、員外役員の選挙手続き、職場のサービス環境等に関する相談窓口を設置し、必要に応じて関係機関や顧問弁護士等の指導を受けて、男女が共に働きやすい就業環境の整備を支援します。



(3) 女性理事の登用推進事業

女性理事登用の事例の紹介、**女性理事を登用した会員土地改良区に対する支援(※)**、女性役職員のネットワーク化の推進等を実施します。

(※) 女性理事登用助成金の交付

女性理事が所掌する業務等に要する経費を助成し、女性理事登用による効果発揮を促進します。

- ・ 交 付 先：令和5年4月1日以降令和8年3月31日までに女性理事を新たに登用した会員土地改良区。
- ・ 助 成 額：令和5年4月1日～令和8年3月31日に登用した女性理事1名につき1回に限り30万円以内を助成します。
但し、交付対象となる理事は、1土地改良区2名までとします。
- ・ 交 付 時 期：原則、女性理事を登用した年度の翌年度に助成金を交付します。
- ・ 助成金活用経費：女性理事が所掌する業務(地域住民との交流促進、農業関係女性役職員のネットワーク化 等)や男女共同参画に関する講習会等への参加に要する経費。



第24回

「あきたの美しく豊かな農村づくり」 写真コンクール

2月21日(水)と2月22日(木)、第24回「あきたの美しく豊かな農村づくり」写真コンクールの審査会が秋田県社会福祉会館9F特別会議室で行われました。今年度応募いただいた125点のうち、20点の受賞作品が選ばれました。受賞作品については、本会ホームページ「写真コンクール」のサイトでもご紹介しております。

また、右記QRコードからもアクセスできますのでご覧ください。



【審査員】

- 審査員長 中村 章 氏 (全日本写真連盟秋田県本部委員長)
審査員 大久保瑠衣 氏 (秋田魁新報社総合編集本部デジタルセンターデジタル編集部次長)
審査員 藤原 絹子 氏 (秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会事務局長)
審査員 相場 詩織 氏 (フリーアナウンサー)

【講評・感想】

○ 中村 氏

「応募作品の中で色調整をしすぎて派手な写真になっている作品があったので、写真の焼き方を工夫するべきだと思いました。また、選ばれた作品の中でも写る範囲を変えることでもっと良い評価になるものもありました。」

○ 大久保氏

「初めて写真コンクールの審査員を携わらせていただきました。応募されている皆さんは、日頃から日常生活世界を切り取ろうとカメラを向けている方々だと感じました。しかし応募作品の用紙がまちまちで、使われているペーパーが違っていたらもっと良い評価になると感じたものもありましたので、応募規定で写真の材質を統一した方が良いと思いました。」

○ 藤原氏

「写真の審査は初めてで、ご迷惑をおかけしながらも色々と教えていただいて大変勉強になりました。コロナが5類に移行してからは表情が豊かな写真となり、農山村のきれいな風景と人の生き生きとした動きが相まって素晴らしい写真が多く見受けられました。」

○ 相場氏

「写真を見ていて、自分が幼い頃このような風景の中で育ってきたことを思い出し涙がこみ上げてくると同時に、懐かしく幸せな気持ちになりました。写真の技術もそうなのですが、写っている子供たちの表情や美しい農山村の風景をみていると技術を超えて訴えかけてくるものがあると感じました。」





十八森早春賦

田川 和彦 【撮影場所】にかほ市冬師
(撮影コメント)

冬師湿原の十八森ため池の水面が解け出し、
鳥海山の水鏡に遅き春を感じた刻。残雪の
おかげで行けた場所から運良く撮れた一枚。



縄結の教え。

佐々木 茂 【撮影場所】由利本荘市東由利
(撮影コメント)

3年ぶりに行われた、しめ縄の交換行事。女
の子が年配の方に熱心に教えてもらっていた。



癒し郷

佐藤 成公 【撮影場所】羽後町軽井沢
(撮影コメント)

通りがかりの雨上がり、午後の陽をうけた集
落と沿道には地域住民により植えられた多
くの花々に癒され、このような素敵な活動と山
里の景観は後世に伝えていかなければいけ
ないと思ったから。



みーつけた!

@ catmi0621 【撮影場所】横手市十字
(撮影コメント)

大人にとっては大変な収穫作業でも、子供に
にとってはまるで宝探しのよう真剣そのも
の。

能登半島災害派遣について

当会管理情報部の柴田副主幹、石川専門員が先陣を切って、その後、鈴木班長、加藤専門員が「令和6年能登半島地震」の災害対応にあたってきました。なお、3月23日より福岡主査、門間専門員が災害対応にあっております。

令和6年1月1日16時10分頃、石川県の能登地方の深さ16kmでマグニチュード(M)7.6の地震が発生した。この地震により石川県羽咋郡(はくいぐん)志賀町(しかまち)で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測するなど、被害を伴った。

○被災された場所を目の当たりにしてどのように感じましたか？

地震発生から1ヶ月経ったものの、ライフラインは電気の復旧のみで、上下水道の復旧はしばらく掛かると思われます。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

○現地ではどのような業務(対応)をしましたか？

(1班)柴田、石川 (2班)鈴木、加藤

- (1班)集落排水施設管路の1次調査を実施しました。
業務内容は、マンホールを開け、破損、滞留等の確認、管路の隆起、沈下状況の確認をした上で、2次調査の可否を判定することです。
- (2班)集落排水施設管路の2次調査を実施しました。
業務内容は、1次調査において2次調査が必要と判断された路線の詳細調査として、滞留している汚泥をバキュームで吸引し管口カメラと目視によりマンホール内部と管路の損傷部の確認を行いました。

○現地で苦慮した点はどのようなことでしたか？

集落排水施工後に道路改良が行われたり、除雪により雪に埋まったマンホールの位置を探し当てること、道路下なのでマンホールを開閉するのに苦慮しました。
また、宿泊場所が限定され、調査箇所まで90kmほどあり、復興車のラッシュなどで片道2時間半から3時間ほど掛かりました。

○派遣を終えての率直な気持ちはどうですか？

- (柴田副主幹) 調査や車での移動など大変でしたが、被災を受けられた方々には1日も早く復興され、元気になってもらいたいと思います。
- (石川専門員) 被災地の早期復興を願います。
- (鈴木班長) 普段何気なく利用しているライフラインですが、被災地の状況を目の当たりにして重要性を再認識したので早期の復興を願いたいと思います。
- (加藤専門員) 通水不能区間が複数あるので、今すぐにも仮復旧を行い、生活の安定の確保が必要だと思います。

○今後、災害派遣される方への心得についてご教示願います。

秋田県土地連から石川県金沢市まで片道575km、車で8時間要しました。
さらに、調査の現場も宿舎から片道2時間半以上、また、宿舎へ着いてからは調査書類の整理等があるため、とにかく体調管理に気をつけてください。

○現地の被災状況



(マンホールが隆起?)

道路が下がってマンホールが隆起したように見える。大きい箇所では35cmの段差が見られた。

<能登町 駒奇地区>



(管路沈下確認)

道路舗装下1.2mに埋設されている管路が道路に押し潰され確認出来ない状況である。

<輪島市 美谷地区>



(マンホールのズレ)

マンホールの接続部ズレが確認出来た。大きい箇所では10cm程度のズレが見られた。

<能登町 柳田中央地区>

【柴田副主幹、石川専門員、鈴木班長、加藤専門員お疲れ様でした】

※この度の「令和6年能登半島地震」の募金にあたりまして、皆様方のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。(総額：1,411,768円)

令和5年度女性セミナーを開催 ～あきた水土里ネット女性の会～

2月26日(月)、あきた水土里ネット女性の会が主催する「令和5年度女性セミナー」が秋田市の遊学舎で開催された。当日は女性の会会員のほか、県内改良区の女性理事3名を含め40名ほどの参加があった。開会にあたり根本会長(かつの土地改良区事務局長)は、「21世紀の活力ある社会を作っていくためには、女性ならではの多様な視点や価値観、創意工夫が社会を変える大きな力となることから、これまで以上に『女性の活躍』が求められ、時代は大きく変わりつつある。本日のセミナーでは、ライフキャリアの充実や女性が活躍しやすい職場などについて講演していただくこととなっており、会員同士の活発な意見交換を期待したい」と挨拶があった。

セミナーでは、株式会社ビィ・ウィズの萩原幸子氏、佐々木啓子氏に講師を務めていただき、少人数でのグループワークを行った。始めに「自分と向き合うこと」についてのチェックシートを使った確認を行い、次に「セルフコントロールの仕方」、「信頼される聴き方・伝わる話し方」、「キャリアプランニング」について受講し、参加者同士で意見交換をしてもらった。

セミナー終了後、佐藤副会長(由利本荘市矢島町土地改良区)から「今回のセミナーの内容は、私たち女性にとって共感できることばかりだったように思う。また、普段交流が少ない他管内の女性職員とも交流する良い機会となり、今後もあきた水土里ネット女性の会らしく気負わずに活動を行いたい」と閉会の挨拶があった。

今回は、初めて県内女性理事の方々にもご参加いただき、会員との交流を深めてもらった。これからも女性の会としてネットワークを広げるとともに楽しみながら様々な活動をしていきたい。



開会の挨拶をする根本会長



左:萩原講師
右:佐々木講師



セミナーの様子



グループワークの様子①



グループワークの様子②



閉会の挨拶をする佐藤副会長

土地改良区リレーインタビュー

北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤 則子さん

土地改良区リレーインタビューの第7回目として北秋田市土地改良区 事務局長 佐藤 則子さんから様々なお話を伺いました!

インタビュー

Q.1

事務局長に就任された時の正直な気持ちを教えてください。



佐藤事務局長

事務局長就任については、当時の理事長から打診されていたのですが、正直悩みました。私はそれまで主に会計業務を行ってきており、事務局長職とは「現場経験が豊富な男性職員がなるもの」というイメージを持っていましたので、一度はお断りしたのですが、再び理事長から頼まれ、その熱意に負けて頑張ってみようという気持ちで引き受けました。

Q.2

事務局長に就任して苦労したことなどを教えてください。

事務局長となってからは、新たに大館・北秋田支部の事務局としての業務も加わり、最初の大きな仕事は、国会議員・農林水産省への要請活動でした。初めての経験で分からない事や戸惑うことも多かったのですが、近隣の支部からの協力もあり、無事に業務をこなすことができました。

また、苦労ではないのですが、「土地改良区における女性理事の割合10%以上」の成果目標に向けて当改良区でも女性理事受入体制を整備することとなりましたが、今年度の早い時期に定款変更を行うことが出来、大変良かったと思います。

Q.3

「土地改良」という世界へ飛び込んだきっかけを教えてください。

合併前の旧北秋田郡鷹巣町綴子土地改良区で事務職員の募集があり、これに応募したのがきっかけです。それまでは、土地改良区がどのような仕事をしているか全く分からず、とても不安だったのですが、当時の理事長から直接電話をいただき、「是非うちに来て欲しい」と言っていたことで、土地改良区にお世話になる決心をしました。



左から石川さん、佐藤さん、多賀谷さん

Q.4

これまで一番印象に残っている仕事を教えてください。

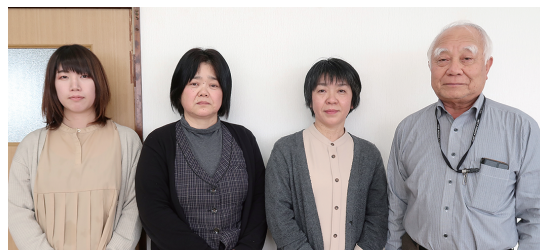
合併前の平成3年度、旧北秋田郡鷹巣町綴子土地改良区では秋田県内第1号として県営事業1ha区画の「低コスト化大区画ほ場整備事業」に取り組んでおり、こういう特別な事業に携われたことが誇らしく、今でもとても印象に残っています。

Q.5

現在、土地改良区や土地連で働く女性たちに向けてひと言をお願いします。

私は現場経験が少ないので、男性と一緒に現場で活躍している女性は輝いて見えて、とても素敵だなと思います。

女性職員は男性職員よりも接しやすく、女性ならではの気遣いや柔軟な対応も出来ると思いますので、無理に男性の真似をしようとせず、女性は女性らしいままで様々なことに挑戦していただきたいと思います。



藤嶋理事長と女性職員の皆さん

秋田県受益農地管理強化委員会
秋田県管理運営体制強化委員会

(受益農地管理強化委員会)



3月7日(木)、土地改良区体制強化事業に関連した令和5年度秋田県受益農地管理強化委員会並びに秋田県管理運営体制強化委員会が開催され、東北農政局からは前川課長補佐にご出席いただいた。両委員会では、本会の専務理事である佐藤委員長の挨拶に続き議事が行われ、事務局からは令和4年度実績報告、令和5年度実施状況、令和6年度事業計画(案)などの説明が行われた。

はじめに、受益農地管理強化委員会が開催された。

事務局からは採択2年目までの地区を対象に各種基準の作成及び換地選定に関する指導や換地技術向上の研修、技術者配置状況等の説明が行われた。

委員からは技術者の育成に関わる質問が出され、継

続した人材育成が必要な旨の回答がされた。

いずれの協議案件についても出席委員全員の賛成により承認され、議事終了後には、研修会の内容に相続登記の義務化について実例を基に行ってはどうかとのご意見をいただくなど効果的な事業の推進に向け活発な意見交換が行われた。

引き続き、管理運営体制強化委員会が開催された。

事務局からは、令和5年度に実施した定期診断・要請診断の状況報告や、苦情・紛争等に対応する相談業務、会計指導の報告があった。

委員からの「事業費が高騰しているが、負担を少なくできないか」との質問に対し、事務局から「地元負担の少ない事業の選択や、全面改修ではなく整備計画による早めの補修により、事業費を抑える方法について指導する」など回答された。いずれの協議案件についても出席委員全員の賛成により承認された。



(管理運営体制強化委員会)

「随想」

シリーズ④

新生活

二ツ井町土地改良区

成田 円美



長い冬が終わり、待ちに待った春がやってきました。新年を迎え、生活に変化のある方もいると思います。昨年一年の我が家の変化についてお話しします。

我が家は同い年の夫、二十歳の長男、十六歳の次男の四大家族です。毎日の食事準備、大量の洗濯、送迎など忙しく過ごしていましたが、昨年四月、長男は就職で、二男は高校で寮生活を送るため、二人同時に家を離れることになりました。賑やかだった我が家は急に静かになりましたが、寂しい反面、

もともとゆつくりと過ごしたいタイプの私は一週間ほどでそんな生活にも慣れ、のんびりライフを満喫していたのですが…。

九月に入り、突然変化が訪れました。かねてよ



り犬を飼いたいと言っていた夫に根負けし、生後二か月のワンちゃんを迎えることになったのです。のんびりライフから一変し、バタバタの子育て生活が始まりました。外が大好きで散歩に行くとき雪にダイブ、まだ帰りたくないと言った息子を連れて帰ると、突然電池が切れたように寝る、息子達の小さい頃にそっくりです。大変なこと多いですが、とにかく可愛い！家に来た時は二キロ弱だった体重もあつという間に八キロになり日々成長を感じています。普段運動は全くせずに車移動しかしない私ですが、毎日の散歩が日課になり健康寿命が伸びることを期待しています。

すっかり賑やかな生活を取り戻した我が家ですが、これからも生活の変化を楽しんでいきたいと思っています。



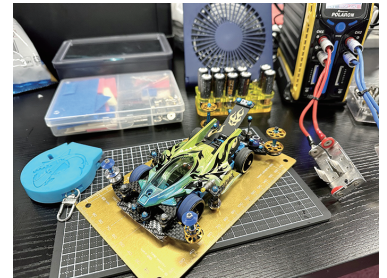
趣味

水土里レポーター：内越土地改良区
職員 伊藤 孝弘

ミニ四駆をご存じでしょうか。タミヤが販売する小型モーターで動く自動車模型です。

由利本荘にはミニ四駆のお店や団体があり、愛好する様々な職種の老若男女が自分で作ったマシンを駆り全国各地でレースを楽しんでおります。繋がる事のなかった人と趣味で繋がる事も魅力の一つです。

皆さんは夢中になれる趣味はおありですか。



皆様の声をお待ちしております

会員の皆様へより良い情報提供をするため、会報誌【秋田の土地改良】について「もっとこうして欲しい!」「このような情報を載せて欲しい!」などのご意見・ご要望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

- 品 サイトマップ
- 🔗 リンク
- 📄 プライバシーポリシー
- お問い合わせ

水土里情報

ライブラリー

広報活動



こちらから
アクセス
できます!

リレー感想文 vol.36



広報誌の表紙を見るたびに、四季折々の風景が秋田を感じさせ、毎号楽しませてもらっています。

農業農村整備事業や秋田の行事について、知識の一環として理解を深めることができます。

これからも楽しみにしております。

管理情報部 施設整備班
保坂 幸祐

編集後記

今年の冬は暖冬で、気温が高く積雪も少なかったため非常に過ごしやすい冬でした。その一方で、雪不足により秋田の伝統行事やスキー場などに影響があり、今年の冬を満喫できなかった方も多いと思います。また、私たちに最も重要な農業においても積雪量が少なれば水不足に陥るため、今春の田植えの時期は少し心配なところです。

さて、今年度も終盤を迎え、皆様におかれましては新年度に向けた準備等でご多忙のことと存じますが、体調には十分お気を付けてお過ごしください。引き続き水土里ネット秋田は、会員及び関係者の皆様と協力しあいながら、秋田県農業の発展に寄与して参ります。また、政策・広報班では親しみやすく、より有益な情報誌作成に向けて、皆様からの声をお待ちしております。

(政策・広報班 小野)

